

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970800060
法人名	社会福祉法人 尽心会
事業所名	ゆうゆうホーム
訪問調査日	平成 19 年 9 月 6 日
評価確定日	平成 20 年 3 月 26 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3970800060
法人名	社会福祉法人 尽心会
事業所名	ゆうゆうホーム
所在地 (電話番号)	高知県土佐清水市浜町1-23 (電話)0880-83-0506

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月6日	評価確定日	平成20年3月26日

【情報提供票より】(19年8月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 12 月 16 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7.3 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <u>単独</u>	新築 / <u>改築</u>
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) <u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <u>無</u>	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

(4) 利用者の概要(8月16日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	74歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松谷病院 大西歯科医院 老人保健施設サンケアしみず	2
---------	---------------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者・計画作成担当者は地域密着型サービスに熱意を持って取り組んでおり、ベテラン職員と共に今後の活躍に期待する。
事業所は平成12年の開設で旧土木事務所独身寮の改築であり、浴室が2階にあり利用者の運動の1つになっている。静かな住宅地にあり、利用者一人ひとりの状況も把握し、その人らしい暮らしができています。ゆっくりと、ゆったりと過ごせる事業所で、今後更に地域住民との交流も深めていける事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	物品の保管については改善できているが、地域や行政との関係、権利と義務については、現在も取り組み中なので、検討を重ね早期の改善を望む。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価を実施するに当たり、評価の意義とねらいについて全員で話し合い取り組まれている。自己評価から地域との交流を深め、またサービス向上に向け同業者との交流も深める取り組みをしている。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヵ月に1回開催している。事業所から利用者の状況、行事の計画等が報告され、参加者からは意見が出され、会議録もある。会議録から9月の外出行事として「海辺の彼岸花まつり」に参加する報告や、4月当初に立てる事業所年間計画を家族にも見てもらい意見をもらったかどうかという提言を受け、即取り組み改善している。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時には声かけ、意見など聞いている。現在、家族会は結成されていないが運営推進会議には家族の代表者に参加いただき、「いろいろな所へ連れて行ってくれ、本人も喜んでいて、家族も安心してお任せできる。」との声もでている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域で開催している”ふれあいサロン”に招かれて参加したこと、暮れの餅つきに青年団や子供達が来てくれたり、花火大会には地域の人と一緒に見る等交流もあるが、地区の一住民として地域の活動に参加したり、避難訓練も事業所だけの訓練に終わらず、地域の方々にも参加協力していただく等地域との交流を深めていく取り組みを期待したい。

	A	B	C	D	E	F
1	2. 評価結果(詳細)					
2						
3	(<input type="checkbox"/> 部分は重点項目です)					
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	I. 理念に基づく運営					
6	1. 理念と共有					
7			○地域密着型サービスとしての理念	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔「ゆうゆうホーム同居人心得」として、その人らしく暮らしていけることを、のんびり・ゆっくり・ゆったりと支えていこうとする事業所独自の理念がある。〕		
8	1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 []		
9						
10						
11			○理念の共有と日々の取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔管理者、職員と共に理念について話し合い、共有しながら実践している。〕		
12						
13	2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔管理者、職員の話しかけや態度は穏やかで、利用者一人ひとりがそれぞれの家庭での生活に近い一日を過ごせるように理念を踏まえながら日々取り組んでいる。〕		
14						
15	2. 地域との支えあい					
16			○地域とのつきあい	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 []		
17						
18	3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域で行う“ふれあいサロン”に招かれて参加することや暮れの餅つきには、青年団、子供達が来訪してくれるので、利用者も楽しみにしている。〕	○	行政からの広報のみで大きな行事やお知らせのみである。行政の広報のみだけでなく、地区の回覧を回してもらうよう働きかけ、身近な情報を得ながら、ゴミ出し後の掃除当番等地域の活動に参加し、より一層地域の方々との交流、そしてホームの情報も伝えながら取組まれるよう期待する。
19						

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
21	4	7	○評価の意義の理解と活用	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [この事業を実施するに当たり、評価の意義とねらいについて全員で話し合い自己評価に取り組まれ、今後更に取り組んでいこうとする姿勢が窺える。] <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 []	○	全職員で前回の評価で見出された課題について、まだ改善できていない課題への早期の対応を期待する。
22			運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
23						
24						
25	5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [2か月に1回開催している。事業所からの報告(利用者の状況や行事の様子等)、参加メンバーからの意見も出ている。運営推進会議録も作成されている。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 []		
26			運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
27						
28						
29	6	9	○市町村との連携	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 []	○	事業所には研修などができる部屋がなく受け入れも難しい。まずは、運営推進会議等で、行政等との連携について話し合われる事を期待する。
30			事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(<input type="radio"/> 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
31	4. 理念を実践するための体制					
32	7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 [家族の来訪時には必ず声をかけ利用者の近況報告等をし、家族の意見も聞くようにしている。来訪の家族も固定化傾向にあるので、今後はすべての家族に来ていただけるように呼びかけを工夫して取り組むことにしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [「ゆうゆうホーム通信」の他、利用者一人ひとりの暮らしぶりを手紙にしたり写真を入れて送っている。また家族の来訪時にはアルバムとして整理し見ることが出来るようにしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [金銭出納管理は、パソコンで行い月1回請求書を送付する際に一緒に報告している。家族と相談の上、個人で持っている方もおり自己管理も支援している。]		
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40	8	15	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [現在、家族会は結成していないが、運営推進会議で家族の代表者からの意見を聞いている。また事業所として家族全員にお便りを出し意見をもらっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 []		
41						
42						
43						
44	9	18	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [法人内の異動、定年退職や出産等による退職もあるが、5～6年勤務している職員もおり利用者を継続的に支える体制ができています。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 [利用者のダメージを防ぐため引き継ぎ期間を十分に取っており、利用者の動揺もない。]		
45						
46						
47						
48	5. 人材の育成と支援					
49	10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 [パート職員も含んだ職員全員が法人内、外の研修に積極的に参加できるよう努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 [受講後は月1回の職員会で報告し全職員が共有し、研修報告も閲覧できる。]		
50						
51						
52						

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(<input type="checkbox"/> 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53			○同業者との交流を通じた向上	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につな げている。 []		
54						
55	11	20	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流 する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させ ていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上 に努めている。 [グループホーム連絡会等に加入し、同業者等との交流を深め、ネットワークづくりに 努めている。「同業者ネットワークづくり」を目標に、まずは管理者の集まりを計画し、 交流会を月1回定期的に持ち意見交換をしている。]		
56						
57	Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
58	1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
59			○馴染みながらのサービス利用	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努め ている。 [入居時には事前に何回か面談をし、心身の状況・生活歴・病歴・趣味等を把握し、 利用者が安心して生活できるように取り組んでいる。]		
60						
61	12	26	本人が安心して、納得した上でサービスを利用する ために、サービスをいきなり開始するのではなく、 職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染め るよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験してもらっている。 [事業所の建物構造上、宿泊場所がないため宿泊体験は出来ないが、見学や希望 があれば食事を一緒にとることも出来る体制になっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 [入居希望者には、管理者と計画作成担当者で面接を行い、他職員には後で報告し ている。]		
62						
63						
64						
65	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
66			○本人と共に過ごし支えあう関係	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [在宅生活に近い過ごし方で暮らしていただくことを事業所のねらいとしており、利用 者を支援されるのみの立場におかず、日々生活を一緒に過ごすような関わり方をし ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活 ができるような場面作りがある。 [職員と利用者のふれ合いを大切にし、利用者が出来る掃除・配膳等を職員と共に 行い、お互いが協働しながら1日を過ごしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [庭に畑があり芋を植えている。芋の植え方、"うね"の作り方、間隔の取り方等利用 者に教えていただいている。芋の茎を食材に利用したりと、利用者から生活の知恵を 教わることが多い。]		
67						
68	13	27	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から 学んだり、支えあう関係を築いている			
69						
70						
71						

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(<input type="checkbox"/> 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
73	1. 一人ひとりの把握					
74	14	33	○思いや意向の把握	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日々の暮らしの中で気持ちの変化もあり、その日その日の思いを聞きながら生活し <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔入居時には生活歴や職歴・趣味等把握しているが、更に出来ることがあるのではない か等、家族からも聞きながら情報収集に努めている。〕		
75						
76			一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
77						
78	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
79	15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔月1回の職員会で利用者の状況報告、カンファレンスを行い介護計画を作成している。利用者から「生まれた所へ行きたい」との要望に応え、昔懐かしい人にも会っていたらと、利用者や家族にも大変喜ばれた事が家族のアンケートからも窺える。〕		
80						
81			本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
82						
83	16	37	○現状に即した介護計画の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔利用者の体調の変化、家族の要望があればその都度見直している。見直した新たな計画は家族に説明している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔毎月の個々の介護記録も整理され、一人ひとりの状況に応じ、ワンパターンの設定ではなく個別に期間を設定している。〕		
84						
85						
86						
87						
88						
89	3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
90	17	39	○事業所の多機能性を活かした支援	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔昨年、事業所で終末期ケアを行った経緯もあり、対応できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔送迎も行っており、定期的な外泊者もいる。利用者の要望で家族と相談の上、生まれた場所へ外出するなどの支援も行っており、臨機の対応ができている。〕		
91						
92						
93						
94						
95						

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(<input type="checkbox"/> 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
96	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
97	18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [投薬の変更や検査結果等について家族に知らせている。また家族が対応した受診については結果報告を家族から聞き取り、介護記録に記入し職員も情報の共有をしている。]		
98						
99						
100						
101						
102	19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [利用者や家族に、その都度対応できることを説明し、話し合いを行っている。しかし、終末期の対応方針のマニュアルがないので、利用者や家族に対しても理解を深めてもらうため今までの経験を活かし作成することを望む。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 [利用者や家族の意向があれば、関係者と連携をとりながら対応していく体制がある。]		
103						
104						
105						
106						
107	IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
108	1. その人らしい暮らしの支援					
109	(1)一人ひとりの尊重					
110	20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 [誘導の声かけも利用者のペースに合わせ目立たず、さりげない言葉かけをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 [職員は言葉使いに日々気をつけており、利用者のプライバシーに関する話を話さないことも徹底している。] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 []		
111						
112						
113						
114						
115						

	A	B	C	D	E	F	
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
116			○日々のその人らしい暮らし	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 [利用者一人ひとりに毎日したいことを聞きながら対応している。衣料品が欲しい時など本人と一緒に買い物をする等希望に沿った支援をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 []			
117	21	52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している				
118							
119							
120	(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
121			○食事を楽しむことのできる支援	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 [利用者から食べたい物を聞きながら献立に取り組んでいる。また利用者が出来る事、野菜を切ったり、菜園でとれた芋のつるの皮をはいだりと一緒に作業しながら作っている。また食後の片付けも一緒にしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助のみに止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 [食事介助の必要な方はいないが、日によっては居室で食べたい方もおり、本人の希望に対応しながら、職員も一緒に世間話をしながら楽しく食べている。]			
122	22	54	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている				
123							
124							
125			○入浴を楽しむことができる支援	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 [入浴の時間は15:00~18:00と夕食をはさんで19:00~21:00と決めているが、その他の時間でも利用者の希望の時間に入浴できるようにしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 []			
126	23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している				
127							
128							
129	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
130			○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 [昔の話や今までの生活を聞きながら、利用者の経験が発揮できる場面を作っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 [食事の準備、片付け、洗濯物を干す、たたむ等の役割を持っている。最近洗濯物を干すことが出来た方もおり、干す高さを低くするなどの工夫をしている。]			
131			張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている				
132	24	59					
133							
134							
135							

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
136	25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔毎朝300～400m離れた姉妹宅まで行き、スーパーで買物をして帰ってくる利用者もいるなど、周囲の理解と見守りによるられている取組も行われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔買い物がある時は一緒に出かけている。またドライブに行きたい要望があれば対応している。〕		
137						
138						
139						
140						
141						
142	(4)安心と安全を支える支援					
143	26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔居室や日中玄関に鍵をかけていない。気にならないチャイムの音で人の出入りがわかる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔 〕		
144						
145						
146						
147						
148						
149	27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔利用者に対する災害時非常事態マニュアル、職員の連絡網は作成しているが、非常用食料や備品の準備が出来ていない。消火器は訓練時に点検している。〕	○	運営推進会議等を通じて、地域住民の参加・協力を得られるよう働きかけ、地域住民と定期的に合同訓練ができるよう取り組むことを期待する。また非常用食料や備品の準備を早急にされたい。
150						
151						
152						

	A	B	C	D	E	F
4	外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(<input type="radio"/> 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
153	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
154	28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 [利用者の希望を献立に取り入れ、栄養バランスに配慮している。咀嚼力の低い方には食材を刻むなど工夫している。] <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 []	○	献立表からは、肉・魚、野菜、海草類、豆製品と栄養バランスに配慮していることが窺えるが、専門家のチェックを定期的に受けられることを望む。
155						
156						
157						
158						
159						
160	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
161	(1) 居心地のよい環境づくり					
162	29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 [ホールにはソファを置いたり、廊下には出窓を利用した2~3人掛けの長椅子もあり、利用者同士で談笑もできるようになっている。廊下の中心部分やホーム入口には本棚があり、料理の本、アルバム等が置かれている。] <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 [ホールには行事のスナップ写真や、職員の紹介写真も貼られている。廊下の壁面に絵が飾られ、家庭で見られる雰囲気である。] <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 [小花瓶に希望の花が活けられ、水槽で泳ぐ金魚、ホールにはテレビ、何時でも見ることが出来る新聞、涼をよぶうちわなどから生活感や季節感を感じ取ることができる。]		
163						
164						
165						
166						
167						
168	30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 [タンス・鏡・コタツ(夏は机として)など、馴染みの物が置かれ、住みやすい居室となっている。] <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 []		
169						
170						
171						